

イネ縞葉枯病防除緊急対策事業

農林水産部 農業技術課生産環境担当(029-301-3936)

【R4当初予算額 27,600千円】

【目的】

近年、県西・県南地域を中心にイネ減収の原因となるイネ縞葉枯病が大発生しており、喫緊の対策が求められています。

そこで、防除対策推進のため、効果の高い農薬の空中散布及び育苗箱施用等の推進を行い、県産米の安定生産を図ります。



【事業内容】

1 空中散布費用の一部補助(13,605千円) 拡充

イネ縞葉枯病対策として6月に実施する無人ヘリコプターによる空中散布費用の一部補助

- ・事業実施主体:市町村
- ・補助率:市町村費の補助金額の1/2以内(市町村補助に上乗せ補助)

補助例:市の補助300円/10aの場合
県は150円を上限に補助
→生産者は450円の負担軽減

2 育苗箱施用剤(農薬)費用等の一部補助(13,605千円) 新規

イネ縞葉枯病対策として施用する育苗箱施用剤等費用の一部補助

- ・事業実施主体:1に取り組んだ市町村
- ・補助率:市町村費の補助金額の1/2以内(市町村補助に上乗せ補助)

補助例:市の補助300円/10aの場合
県は150円を上限に補助
→生産者は450円の負担軽減

3 育苗箱施用剤及び農薬の空中散布の効果検証(390千円)

県西地区において被害率及び保毒虫率、生育状況、収量、経営調査により、防除対策の効果検証を行い、チラシ等により対策の徹底を図る。



イネ縞葉枯病の被害や防除負担の軽減、イネ縞葉枯病抵抗性品種導入効果の実証により、安定した県産米の生産へ

